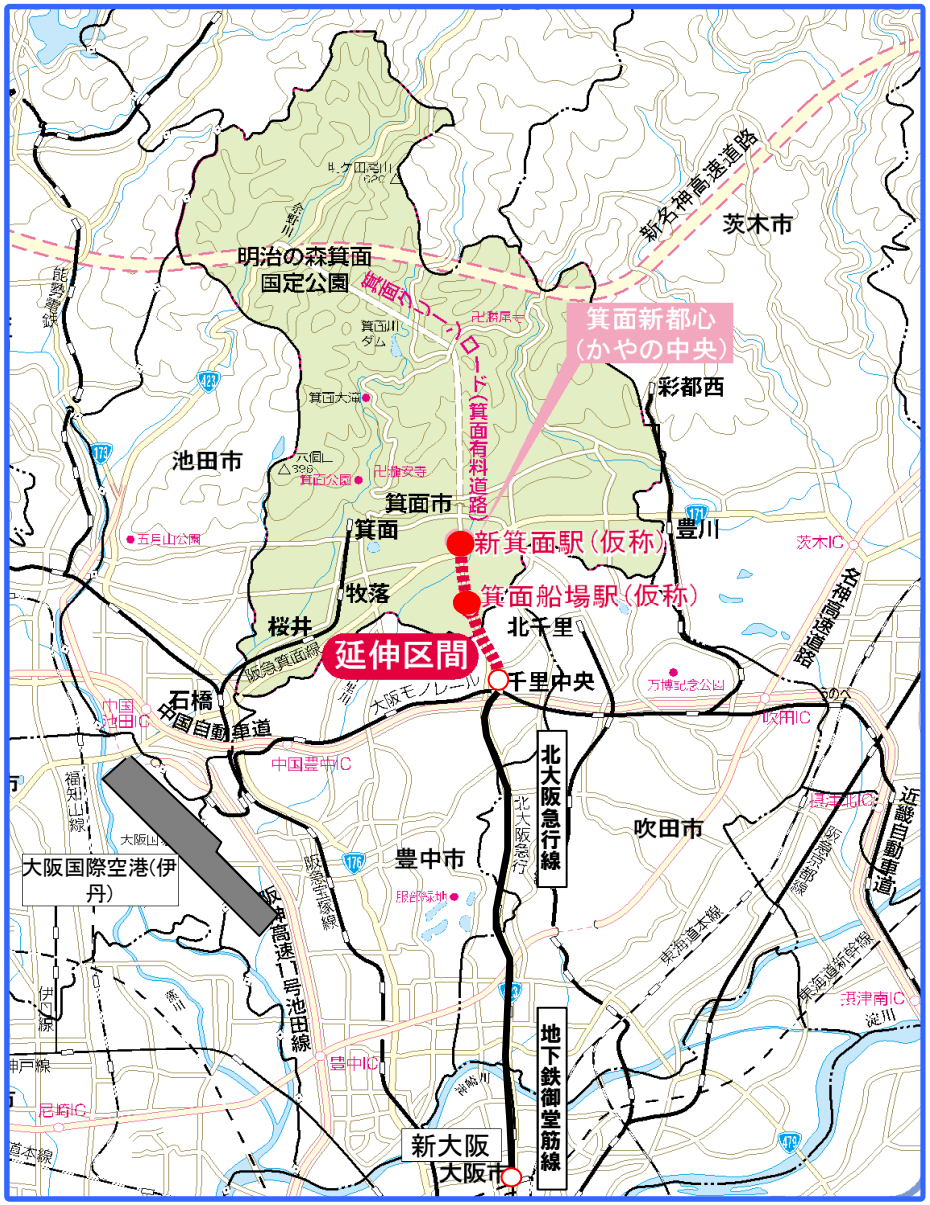
北急延伸計画の概要

資料1



計画の位置づけ

平成元年	運輸政策審議会答申第１０号	答申路線
平成１６年	近畿地方交通審議会答申第８号	答申路線

計画概要

◆延　　長　　２．５km

◆事 業 費　　精査中

◆需要予測　　約４万人/日（精査中）

スケジュール（案）

平成２４年度～　　測量、地盤調査、基本設計

平成２５年度～　　事業化合意、各種手続き、詳細設計

工事、用地買収

これまでの経緯

昭和61年　：　第三次箕面市総合計画に位置づけ（平成13年：第四次、平成23年：第五次）

平成元年　：　運輸政策審議会答申第10号に位置づけ

平成3年　：　北大阪急行線延伸推進会議の設置

平成4年　：　箕面市交通施設整備基金積立開始 → 現在積立額　約34億円

平成15年　：　かやの中央（箕面新都心）のまちびらき → 駅前広場用地（1ha）の確保

平成16年　：　近畿地方交通審議会答申第8号に位置づけ

平成17,18年：　北大阪急行線延伸検討委員会の開催 → 整備計画（案）の取りまとめ

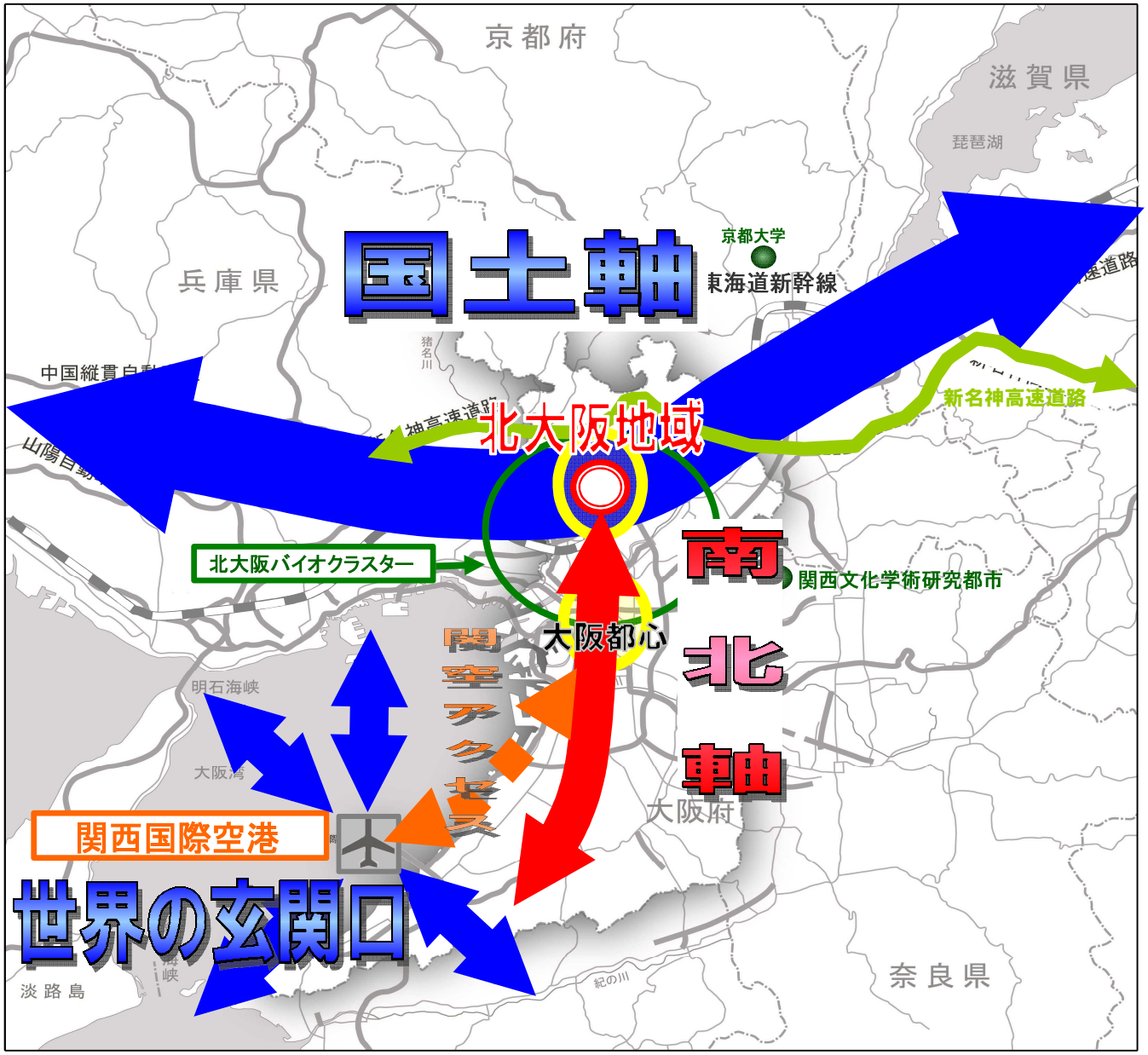
平成20,21年：　北大阪急行線延伸検討委員会の開催

→整備計画（案）を詳細検討し、関係者が合意可能な計画（案）を策定

平成24年　：　大阪府、箕面市、阪急電鉄㈱、北大阪急行電鉄㈱の四者で覚書を締結し、

国の支援（交付金）を受け、共同で事業調査に着手

【事業効果】東西国土軸と大阪南北軸の結節強化



《北大阪地域》

■日本列島の**東西国土軸と大阪南北軸が交わる地域**

■物流・人流の大阪都心部への玄関口

■関西北部からアジアゲートウェイとなる関西国際空港へのダイレクト輸送の発火点

国土軸と大阪南北軸
結節強化

↓

大阪全域の
さらなる発展へ

【事業効果】国道423号の渋滞緩和

新名神と大阪都心とのアクセス

国道423号は慢性的な渋滞

（府内ワースト2位）

新名神の開通で交通渋滞は更に悪化

社会経済損失 大

↓

北急延伸により、並行する国道423号の交通渋滞を緩和を図る

北急延伸は交通渋滞の緩和に資する路線

（近畿地方交通審議会答申第8号）

↓

物流と人流の適切な分担により新名神へのアクセス強化に寄与

関係者の合意形成　～関係者の会議～

◆ 北大阪急行線延伸

○北大阪急行線延伸関係者会議

＜目　的＞

事業化に向けた諸課題の検討

- 採算性の確保
- 事業性向上方策
- 関係者の合意形成

＜構成員＞

箕面市、大阪府、阪急電鉄㈱、北大阪急行電鉄㈱

◆ 船場団地再整備

○団地再整備検討委員会

＜目　的＞

- 団地再整備のマスタープラン
- 事業計画の作成

＜構成員＞

船場団地組合、学識経験者

連携・調整

北急延伸・関連まちづくり等連携協議会（平成23年3月25日設立）

＜目　的＞

北急延伸をはじめとした「交通施策」と新たな都市拠点をめざす箕面市船場地区等の「まちづくり施策」との一体的に推進するため連携・調整

＜構成員＞

箕面市長〈会長〉、大阪府副知事、阪急電鉄㈱社長、北大阪急行電鉄㈱社長
大阪船場繊維卸商団地協同組合代表理事会長